

「基礎と臨床」誌のハンドサーチ実施報告

牛澤 典子 東邦大学医学メディアセンター

【目的】

筆者は東京大学 津谷喜一郎教授の率いる“日本のランダム化比較試験データベース (JRCT)”プロジェクト (遡及, 1998-) ¹⁾での日本医学図書館協会受託分として、「基礎と臨床」誌のハンドサーチ作業に参加した。現在は医学中央雑誌刊行会により実施されているこのプロジェクトにより、ランダム化比較試験(RCT)、比較臨床試験(CCT)などのデータを拾い出している。

【方法】

調査対象：「基礎と臨床」誌 Vol.1(1967)～Vol.31(1997)

[Vol.1-Vol.8 は Clinical report：基礎と臨床]

調査方法：“ハンドサーチにおける RCT 採択の要点” ³⁾に従い、RCT, CCT, GRCT, RRCT 論文のハンドサーチ (拾い出し)を行う。

【結果】

2007年6月現在の作業終了分 (Vol.1(1967)～Vol.29(1995)) について、拾い出した論文数とかかった作業時間は以下の通りである。

RCT	CCT	RRCT	GRCT	計	作業時間数
611	82	1	29	723	218 時間

【結論】

このプロジェクトにより、データベース検索ではヒットしない RCT, CCT 等の論文を拾い出すことができた。それらの論文が Cochrane Library などのデータベースに収録されることによって EBM に貢献している。

1) JHES: 日本ハンドサーチ・エレクトロニックサーチ研究会 [internet].

<http://jhes.umin.ac.jp/> [accessed 2007-06-29]

2) Cochrane Library [internet].

<http://www3.interscience.wiley.com/cgi-bin/mrwhome/106568753/HOME>
[accessed 2007-06-29]

3) ハンドサーチにおける RCT 採択の要点 [internet].

<http://jhes.umin.ac.jp/hspoint.pdf> [accessed 2007-06-29]